

みんなの広場

発行元 所沢市退職校長会
令和8年 2月

— ごあいさつ —

副会長 齋藤敏男



令和7年度も、あと少しで終わろうとしています。所沢市退職校長会へのご支援・ご協力を頂きありがとうございました。

定年延長により役職定年制が導入され、退職校長会への入会についても、様々な考え方があり難しいところもみられています。

本会としては、取組の様子を皆様にできるだけお伝えできるよう、今年度より広報発行を年間3回としました。（予算としては、今までの年間2回各6頁より年間3回各4頁の方が安くなっています。）本会を身近なものとして頂き、お会いできる機会が増えればと願っています。

令和8年度も、皆様が健康でお過ごしになられ、お会いできることを楽しみにしています。

My Note

会員の皆様の趣味や活動等、楽しく過ごされている様子を掲載します。寄稿をお待ちしています。



「みんなちがって みんないい」

～子どもも 保護者も 先生も それぞれの良さをいかして～

星槎大学 特任講師 公認心理士 山中 徳子

就学前の子どもたちがのびのび遊ぶ姿を観察したり、心理士がやりとりしながら特性を見立てていきます。

退職後、教育系心理職として、巡回相談やスクールカウンセラーとして活動してきましたが、今「インクルーシブ教育」が進められる中、市内の小中学校の特別支援教育の様子も大きく変わってきています。

8割を超える学校に特別支援学級が設置され、個別の教育課程を組んで学習を進めている児童生徒も急速に増えてきています。

昨年からの所沢市の就学相談に関わるようになり、多様なニーズに対応できるよう先生方が日々奮闘していることが伝わってきます。

今年も、スタッフ総勢8名の相談員と応援の調査員14名が、新一年生220名。小中学生160名を超える子どもたちの最適な学びの場を保護者とともに一生懸命考えています。

保護者の思いを受け止め、教育課程の違いや学校現場の現状を擦り合わせながら相談を進めることの難しさを痛感する日々が続いています。

「インクルーシブ」は近年の「ダイバーシティ」と合わせて、義務教育期間に限らず、その後の進路や就労の段階でも重要なキーワードになっていきます。

発達や特性に凸凹がある子どもたちが、強みを活かして自立し、地域で共に生きていく「共生」につながっていくものです。相談員も最新の制度や知見・検査方法など、研究大会や講習会・企業説明会に参加しながら、情報収集に余念がありません。そして、何よりも、新しい春、子どもたち一人ひとりのすてきな笑顔に出会えることを心より願っています。





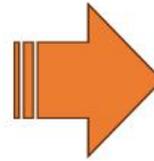
並木小学校「いのちのだいじ」

並木小学校長 成田 仁

目指す学校像（ミッション）

『夢が育まれる学校』

- ①笑顔、元気、愛情があふれる学校
- ②児童が夢の実現のために学ぶことができる学校
- ③共に学び、ひとりひとりが大切にされる学校
- ④子供たちが安全で安心して過ごせる学校
- ⑤学校・家庭・地域との連携が育める学校

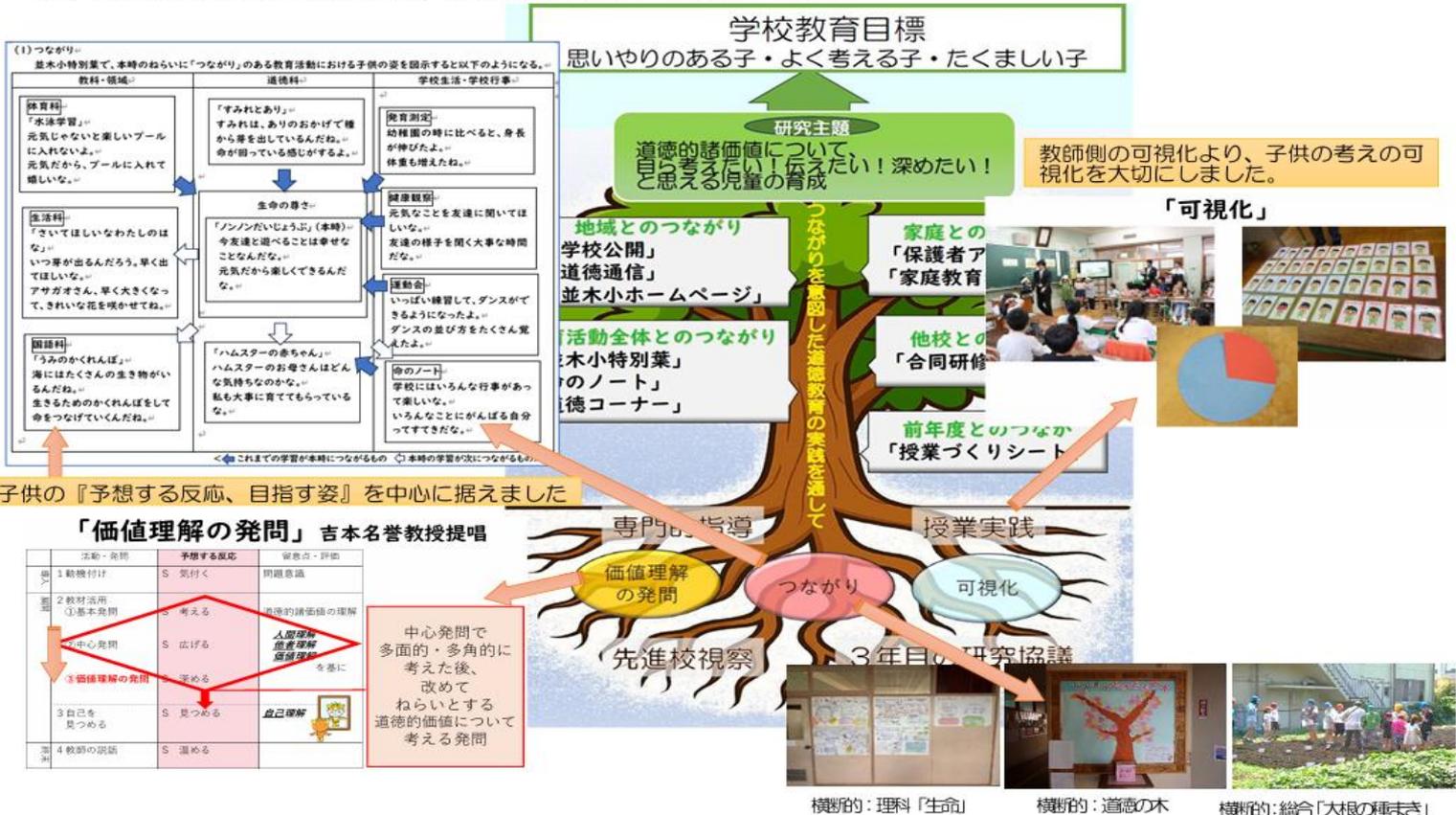


令和7年度に、本校に就任し、「夢が育まれる学校」を学校経営の柱とし、教職員が一丸となって教育実践に取り組んでいます。また、児童には、学校教育目標の具現化とした「3つのだいじ」を、日々の生活に位置付けています。

本校は、5・6年度に埼玉県道德教育研究推進モデル校の指定や7年度には入間地区道德教育研究会の委嘱も受け、特に、「生命の尊さ」を道德科の重要項目として挙げた研究を推進し、授業実践や研究発表を通じて指導方法の改善に取り組んでいます。先に挙げた「3つのだいじ」の「いのちのだいじ」を具体化する日々の教育実践として活かしています。

研究主題 道德的諸価値について、自ら考えたい！伝えたい！深めたい！と思える児童の育成

本校の重点内容項目を「生命の尊さ」とし、つながりを意図した教育実践を、左下の図「並木小特別葉」で示すように道德の授業だけでなく、教育活動全体を「生命の尊さ」に絡め、横断的に取り組みました。また、要として道德科においては、児童の考えを可視化する工夫を右下の写真で示すように、道德的価値について焦点化して考えを深める発問都取り入れて、研究主題の実現に向けて授業実践を重ねています。



けやき会日帰りバス旅行

10月10日(金)に退公連所沢支部会と共催のけやき会日帰りバス旅行が実施されました。今回は「さいたま市周辺を訪ねる旅」ということで4カ所を訪問しました。



まず、造幣局さいたま支局では1円から500円まで6種類の硬貨の製造過程を見学し、硬貨の他に勲章も作っていることも学びました。次に訪問した県立歴史と民族の博物館では、旧石器時代から現代までの埼玉の歴史と民族に関する様々な資料を見学し、中でも巨大な板碑(いたび)が多数立ち並ぶ様子には圧倒されました。そして武蔵一宮氷川神社にお参りして心身を清め、最後に大宮盆栽美術館では、数百万円もする高価な盆栽をはじめ、様々な盆栽を見て心が落ち着き、癒されて帰途に着きました。(文責 小島浩司)



会員研修会



令和8年1月21日(木)に22名の出席の中、所沢市マチごとエコタウン推進課の山田翔太様を講師にお迎えし、「小中学校で行う環境に関する授業とその効果や反応について」を演題として、ご講義いただきました。その内容の概要をまとめました。

コロナ以前と以後の2枚の海の色の違う写真を比べました。授業での導入のようで、何を考えるのだろうと興味がわきました。クイズ形式で ①令和3年度の熱中症による救急搬送人数は？(1, 約10名 2. 302人 3. 135人) 平均気温も上がり、史上最高、35度以上が多くなり、令和7年度は250人に増えています。

②一番多くの人間を死なせてしまう、こわ〜い生き物を知っていますか？(蚊)日本のことだけでなく世界中を考えると蚊による死者が多いということです。子供は生き物に関心が高いので、ホッキョクグマは、海水温が2度上昇したために、氷の上で獲物を捕るために待つことができない。ウミガメは、ビニル袋をクラゲと間違えて食べてしまうと伝えます。大人の私達も内容に引き込まれていきました。

さらに、所沢市の道端に捨てられているゴミの様子を示しながら、市の状況を把握しました。市の45%の緑を保っていることや緑のカーテンの効果なども示し、子供一人一人に「わたしたちにできること」を考えさせ、「わたしの宣言」を決めて実行させるよう授業は進んでいきます。その学級によって児童生徒の感じ方が違うと感ずるそうです。「自分ができるところを、できる範囲で、無理なくやる。お父さんやお母さんに伝えよう！」と伝え、自分事として捉えてもらう工夫もしていただいています。授業後のアンケートの「環境についてもっと勉強したり行動したりしたいと思うか？」では「強く思う48%、まあそう思う47%」の結果が出ていました。子供の環境に関する関心の高さが分かります。

マチごとエコタウン推進課では、毎年度「わたしたちの環境～地球の未来とわたしたちにできること～」のパンフレットを小学校4年生に配布しています。また、企業や市の職員が「環境 出前講座」を小中学校対象に無料で開催していることも知りました。マチごとエコタウン推進課とも連携した授業の展開が、今以上に実践されると良いとの感想も寄せられました。

※講師の山田さんは椿峰小学校のご出身で、5年生の時の担任が佐藤佳岳先生です。研修会後に、佐藤先生から「頑張っているね。」と励ましのメールが届いたとのこと。教育のつながりを感じました。(文責 横須賀邦子)

私も元気です展

第27回「私も元気です展」は、令和7年9月28日（日）から30日（火）まで、所沢市役所1階の市民ギャラリーにて開催されました。

この展示会では、所沢市内の小中学校や高校を退職した教職員が趣味で制作した作品を展示し、「私も元気です！」という思いを多くの方に伝えることを目指しています。約250名の方にご来場いただき、ご支援を賜りました。参加者の紹介をさせていただきます。

ジャンル	出品者氏名
絵画	薄井裕子、鈴木健二郎、鶴田 登、橋本千恵子、柳沢栄子、山崎紀彦、渡辺 博
写真	浅岡豊和、江田宏樹、金子武夫、菅野俊臣、鈴木良明、関口順一、村川裕昭
書	菅野俊臣、橋本千恵子、横須賀邦子、渡辺 博
短歌・俳句	村松昌夫、和田明弘
生け花等	岩永 恵、羽田禮子
工芸	岩永 恵、谷川寧代、深田登志子
その他	青木章次、浅岡豊和、川地康子、佐々木正憲、高野 敏、田中和貴

受章・長寿祝賀会



令和7年12月13日（土）、パークホテルにて令和7年度の受章者及び長寿祝賀会が開催されました。小野塚市長や岩間教育長をはじめ、多くのご来賓の方々にもご出席いただきました。以下に受章者の皆様をご紹介します。

《米寿》（南宗興 様、丹生 忠三 様、榎本剛久 様、田淵 規矩夫 様、大貫 芳雄 様）

《喜寿》（田中 誠子 様、嶋田 恵一朗 様、橋本 千恵子 様、柳沢 栄子 様）
（菅野 俊臣 様、佐々木 正憲 様、松嶋 眞治 様）

おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

芸術鑑賞教室



令和8年1月11日（日）、所沢市民文化センターミュージアムホールにおいて落語鑑賞教室が開催されました。今年度の芸術鑑賞教室は地元所沢での開催となりました。

所沢寄席「初笑い開運らくご会」を鑑賞し、満席のホールに22名が参加しました。林家正蔵氏、林家つる子氏、桂宮修氏、柳家喬太郎氏による卓越した話芸や、林家あずみ氏の三味線漫談、ぴろき氏のウクレレ漫談が披露され、会場は笑いに包まれ、大いに楽しみました。

多くの協賛を重ねて芸術鑑賞教室の実現にご尽力いただいた退職公務員所沢支部および所沢退職校長会の皆様に、心より感謝申し上げます。

【編集委員】（委員長）丸山昇 （委員）鈴木良明、内野正行、齋藤敏男、米澤三八子
◎寄稿やご意見、ご要望がございましたら、編集委員までご連絡ください。